

学びのラウンジ“ポット”イベント 「基礎看護学実習Ⅱに向けて」を終えて

5月28日に、看護学科2年生が6月から始まる実習に向けて、何度も実習を重ねてきた3年生から準備や心得について説明を受けました。

このイベントは、学生間の知識共有と実習への備えを目的としており、参加した2年生にとって大変有意義な時間となりました。

まず、3年生からは事前学習の方法やメモの使い方など、基本的なことについての説明がありました。

また、バイタルサイン測定から報告の流れについて具体的な手順も紹介されました。参加した2年生は、カルテにある患者さんの情報収集の重要性を理解し、アセスメントや看護計画の立案にどのように結びつけていくかを真剣に学ぶ姿勢が印象的でした。

看護技術においては、どのような患者さんを受け持つことが多いのか、実習前に練習しておくべき項目やその練習方法についても説明がありました。これにより、2年生たちは「今だからこそやらなければならないこと」が明確になったようです。

実際、アンケートでも「具体的な勉強や練習の方法を知れてよかった」や「何をしたらいいのかわからなかったが、今やらないといけないことが明確になった」といった声が寄せられました。

今回のイベントは、経験の少ない2年生にとって実習のイメージを掴む貴重な機会となりました。学びのラウンジ“ポット”では、年間を通じて学生主体のイベントを実施しており、今後も学生の学びや学ぶモチベーションを高めていくために、教員と学生が一丸となって活動していきます。

このようにして、学びの場としての“ポット”がますます活用されることを期待しています。

文責 宗像祐二